

# 志呂神社 岡山県神社庁 神社検索システム

## 由緒

本神社は、美作国が備前から分国した和銅6年（713）に弓削庄27カ村（現在の建部町、久米南町）の総氏神として祭られたと伝えられている。古くは神主他20名余が奉仕し、社領は70石を有していた。又、神宮寺もあったと伝えられている。本殿は中山造より発展した3間4面（実尺は4間×4間）の総檜造の出向拝を備えた入母屋造妻入。また、旧県社で祭神に事代主命を祭っており、各所に彫物を配した近世末期嘉永元年（1848）再建）の優れた神社建築となっている。（昭和38年町指定文化財）

志呂神社御供（ごくう）（通称京尾御供）は、志呂神社の神田地であった久米南町京尾「慶安年間（1648～1651）ここ下神目村から分村、地名京尾は、御供の供納からきたともいわれる。」で作られる熟饌で、10月20日の例大祭に供えられる。御供は、一台の三方に（ふと3個、まがり1個、丁銀3個、米飯1盛、柚子1個、箸1膳）が盛られ7台供えられる。「ふと」と「まがり」は、叩粉と呼ぶ米の粉を蒸して作った団子のことであり、丁銀は餅で作られている。その製法や形などに昔の生活や信仰などが偲ばれる。（昭和32年県指定重要民俗資料）

三樹山は、鎮守の森としてこれまでほとんど人手が加えられることはなく、自然の推移にゆだねられてきた。このため、シイノキ、ヤブツバキ、シリブカガシなど原始的な植生型に近い常緑広葉樹が育っており、郷土の自然を知るうえで貴重なところである。このような常緑広葉樹林では、四季を通じて厚い葉っぱに被われており、林外にくらべて気温の変化や温度の変化が少なく、冬の寒さをきらう南方系と夏の暑さに弱い北方系の動植物が同居するめずらしいところである。（昭和51年県指定郷土自然保護地域）



前の写真へ次

## 基本情報

神社コード 17064

神社名 志呂神社（シロジンジャ）

通称名 志呂宮

旧社格 県社

鎮座地 〒709-3113 岡山市北区建部町下神目1834

電話番号 086-722-1405

FAX番号

駐車場 有 200台

御祭神 事代主命

御神徳 厄除け, 安産, 福德成就

---

主な祭典 1月1日: 歳旦祭  
7月最終土曜日: 輪潜祭  
10月20日: 例祭 (秋祭)

---

宮司宅電話 086-722-1405

---

URL

---

e-mail

---

特記事項 志呂神社御供 (岡山県指定重要無形民族文化財)

---

氏子地域 岡山市北区 (建部町下神目、建部町三明寺、建部町豊楽寺)、久米郡久米南町 (安ヶ岨、京尾、上神目、神目中、南畑、別所 東部分)

---

### 交通アクセス

---

J R 津山線福渡駅から北へ車で5分 国道53号線志呂神社前バス停から徒歩5分

